

J a v a プログラミング I

1 回目 はじめての実行
2 0 0 6 年 4 月 1 7 日 (月)

1. J a v a とは？

1 9 9 5 年に Sun Microsystems 社から発表されたオブジェクト指向言語

2. 実行までの流れ

ソースファイル (J a v a 言語のコード)

J a v a の文法に従い記述されるテキストファイル

↓

コンパイラ

J a v a 言語のコードをバイトコードに変換するプログラム コマンド名 : javac

↓

クラスファイル (バイトコード)

J a v a 仮想マシン上で実行される中間コード

↓

インタプリタ *仮想マシンとも呼ばれる

バイトコードから機械語に変換するプログラム コマンド名 : java

↓

機械語

コンピュータが理解できるコードであり実行が可能

3. J a v a 言語開発環境

コンパイラやインタプリタは Sun Microsystems 社から JDK (Java 2 Standard Edition Development Kit) 5.0 として無償で提供される。本講義ではコンパイル・実行を GUI (Graphical User Interface) から簡単に起動できるフリーソフトである CPad for Java2 SDK を使用する。

4. 次のコードを打ち込んで実行してみよう

ソースファイル名 : Sample1.java

```
class Sample1
{
    public static void main(String[] str)
    {
        System.out.println("ようこそ J a v a へ ! !");
    }
}
```

※入力上の注意点

- ・英数字は全角ではなく、半角で入力すること
- ・英字の大文字と小文字は異なる文字として処理される